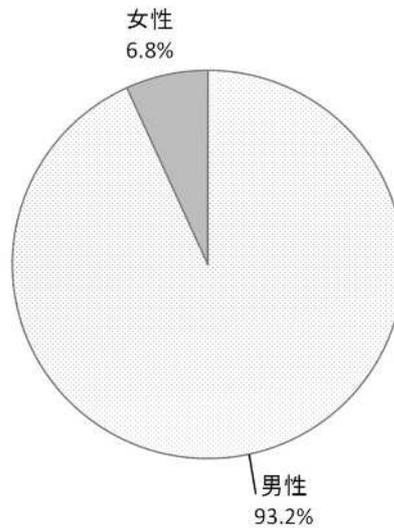


(3) 農業者アンケート調査の結果

1 あなたご自身のことについておたずねします。

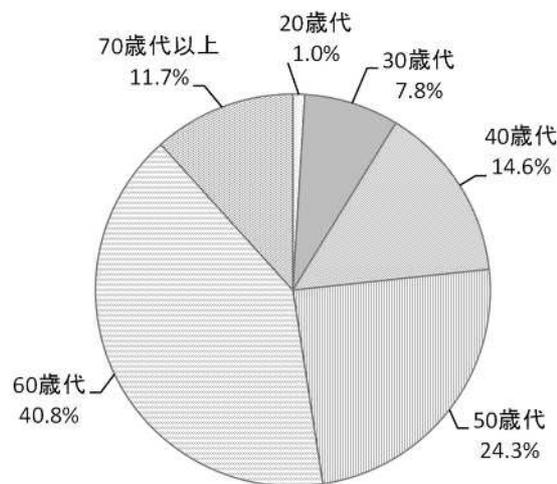
【問1】 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

男性の回答者が多く、9割を超えている。



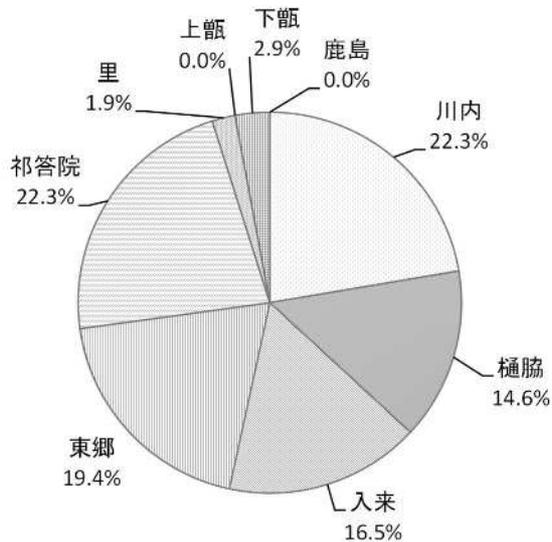
【問2】 あなたの年齢は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

60歳代の回答者が約4割と最も多く、次に50歳代の回答者が2割を超えている。



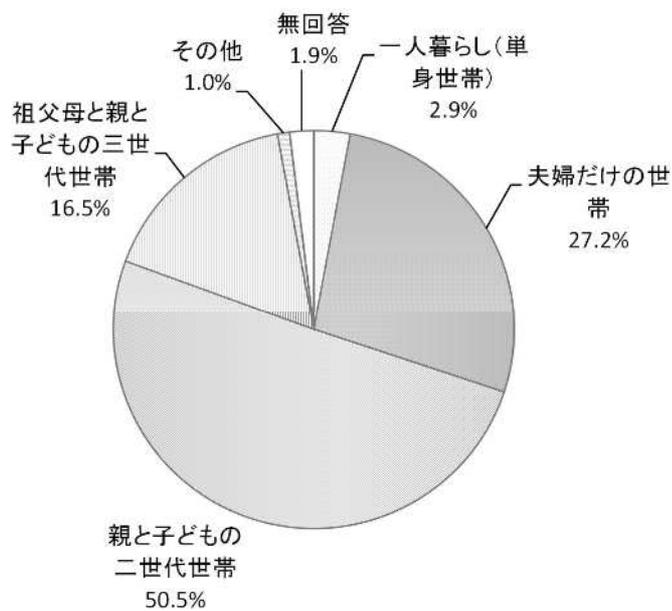
【問3】あなたのお住まいの地域は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

川内と祁答院の居住者の回答が2割強と最も多く、次に東郷の居住者の回答が約2割になっている。



【問4】あなたの家族構成は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

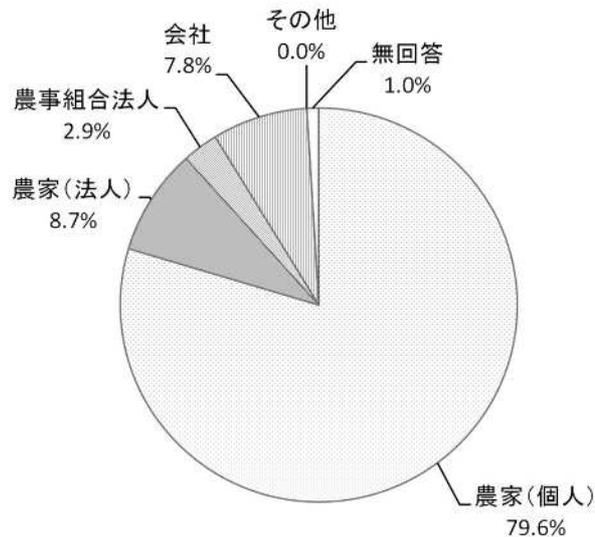
「親と子どもの二世帯世帯」と回答した人が約5割と最も多く、次に「夫婦だけの世帯」と回答した人が3割近くになっている。



## 2 農業経営についておたずねします。

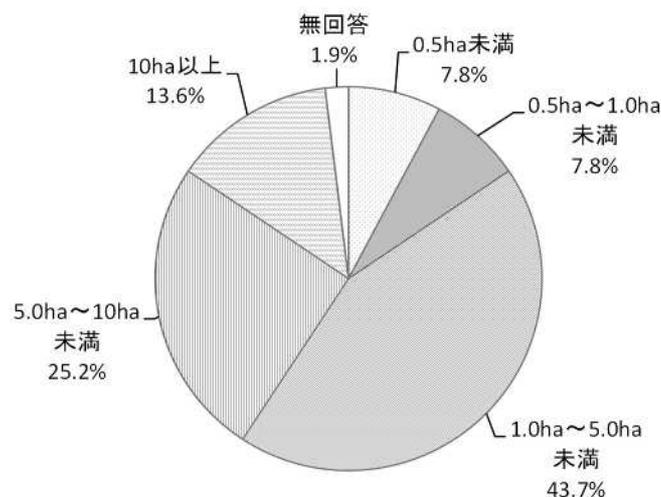
【問5】 あなたの農業を営んでいる形態は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

「農家（個人）」と回答した人が最も多く、8割近くになっている。



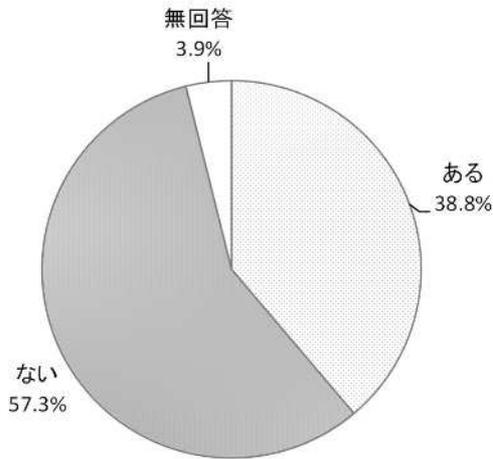
【問6】 現在、あなたが耕作している農地面積(田畑を含む)は次のうちどれですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

「1.0ha～5.0ha 未満」と回答した人が4割強と最も多く、次に「5.0ha～10ha 未満」と回答した人が2割を超えている。



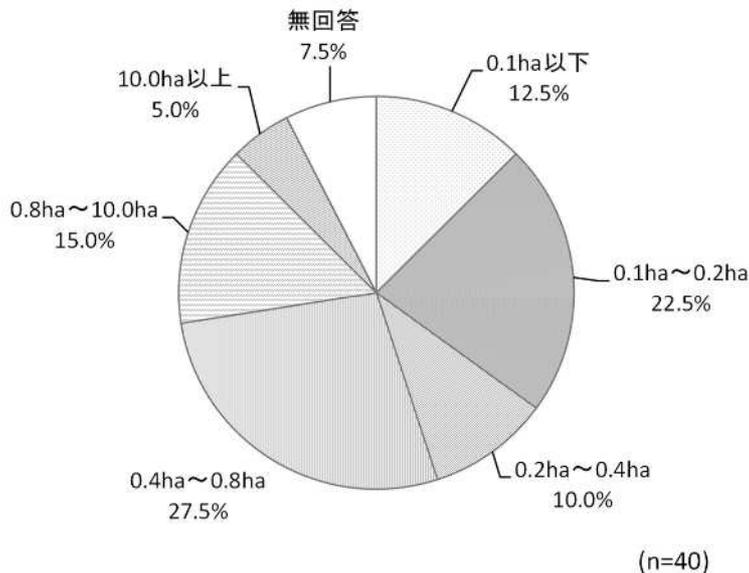
【問7】あなたが所有している農地の中で、耕作していない農地はありますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。また、「1.ある」と回答した方は、耕作していない農地の面積及び、耕作していない理由をお書きください。

「ない」と回答した人が6割弱と多いが、「ある」と回答した人も4割弱を占めている。



【耕作放棄地面積】

耕作放棄面積は、「0.4ha～0.8ha」が3割弱と最も多く、次に「0.1ha～0.2ha」が2割を超えている。



## 【耕作していない理由】

- ・ 畑地であり、水の確保が難しく、栽培できる作物が限られている。
- ・ 水田であるが水がない。
- ・ 農地に水が来なくなる。
- ・ 水回りが無い及び農道がない。
- ・ 農機が入らない。
- ・ 農作業機が入りにくい。
- ・ 農業機械が入らない。小面積である。(1~3a)
- ・ 道路がない。
- ・ 農道がないために機械が投入できない。山林化している。
- ・ 道路幅が狭く、機械を運搬するのに危険。
- ・ 面積が小さすぎる。
- ・ 条件の悪い農地。
- ・ 湿田。
- ・ 湿田。
- ・ 湿田のため
- ・ 湿地田で機械が入らない。
- ・ 荒地。
- ・ 土層改良中。
- ・ 耕地整理中。
- ・ 幅の狭い長い水田で隣接者に貸している。
- ・ 山あいのため周囲の杉等が大きくなり、一日中影のため作物が育たず、作付け不可能なため。
- ・ 会社勤め時代、労力不足により隣接地から竹が侵入し荒地化。現在も解消に至らず。
- ・ 鳥獣害。
- ・ 鳥獣被害。
- ・ 鳥獣(シカ、イノシシ、カラス、鳩)の被害。
- ・ イノシシ等の被害があるから。
- ・ 鹿害で耕作できない。
- ・ 枯れた。価格が合わない。
- ・ 利益の出る作物が見当たらない。
- ・ 利用度低い。
- ・ 耕作の時間が取れない。
- ・ 現状維持で手いっぱい。
- ・ 手が回らない。
- ・ 田は自家消費分だけつくる。畑は便が悪い。

【問8】あなたの家(法人・会社)の経営作物は次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「米(水稲)」と回答した人が約6割と最も多く、次に「牛肉」と回答した人が3割を超えている。農業形態別に見ると、個人では「米(水稲)」、法人では「牛肉」と回答した人がそれぞれ最も多くなっている。



《その他の意見》

その他の意見	件数
かぼちゃ	2
WCS、大豆	1
繁殖牛	1
飼料作物	1
子牛生産	1
観葉植物	1
花	1
オクラ	1
小松菜	1
大豆	1

■各属性のクロス集計結果

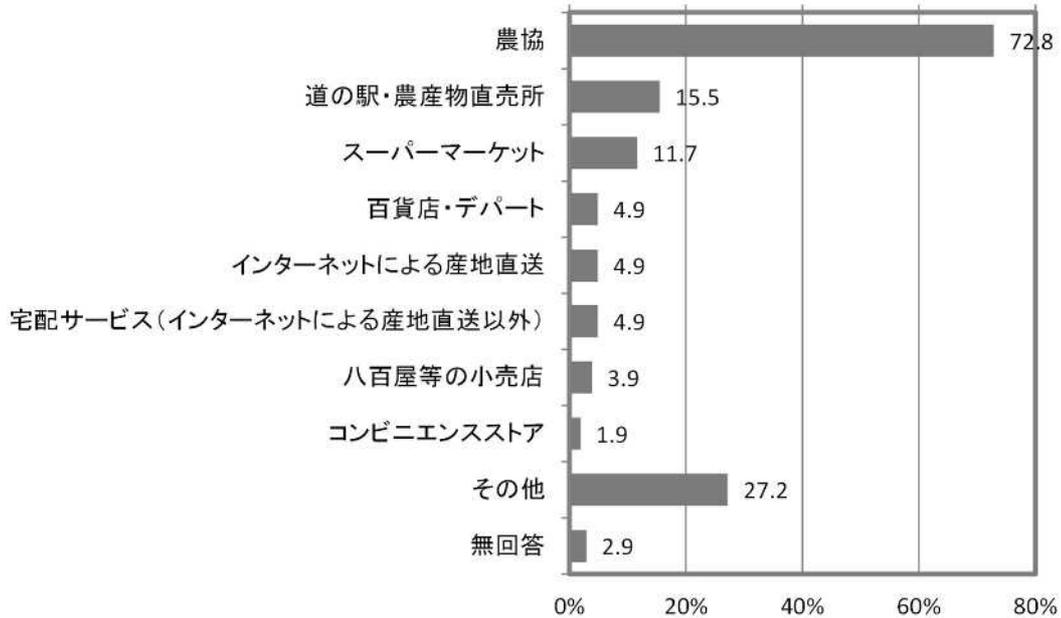
	合計	米(水稲)	らっきょう	ごぼう	そらまめ	さつまいも	やまのいも	だいこん	にんじん	ジャガイモ	さといも	はくさい	キャベツ	ほうれんそう
全体	103 100.0%	61 59.2%	3 2.9%	5 4.9%	0 0.0%	2 1.9%	2 1.9%	2 1.9%	3 2.9%	2 1.9%	3 2.9%	3 2.9%	3 2.9%	4 3.9%
年齢	40歳未満	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%
	40歳代	15 100.0%	7 46.7%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%
	50歳代	25 100.0%	17 68.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%
	60歳以上	54 100.0%	33 61.1%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%
居住地	川内	23 100.0%	10 43.5%	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	1 4.3%	2 8.7%
	樋脇	15 100.0%	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%
	入来	17 100.0%	9 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	東郷	20 100.0%	12 60.0%	1 5.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%
	祁答院	23 100.0%	19 82.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	瓶島	20 100.0%	4 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農業形態	個人	82 100.0%	57 69.5%	2 2.4%	5 6.1%	0 0.0%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	3 3.7%	2 2.4%	3 3.7%	3 3.7%
法人	20 100.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

	レタス	ねぎ	たまねぎ	きゅうり	なす	トマト	ピーマン	ゴーヤー	いちご	なし	うめ	温州みかん	サワーボムロ
全体	0 0.0%	2 1.9%	4 3.9%	4 3.9%	3 2.9%	2 1.9%	2 1.9%	6 5.8%	12 11.7%	1 1.0%	0 0.0%	6 5.8%	0 0.0%
年齢	40歳未満	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%	5 20.0%	1 4.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%
	60歳以上	0 0.0%	0 0.0%	2 3.7%	2 3.7%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	3 9.3%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.6%
居住地	川内	0 0.0%	2 8.7%	2 8.7%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	4 17.4%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	樋脇	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	5 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	入来	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	東郷	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	4 20.0%	1 5.0%	6 30.0%	0 0.0%
	祁答院	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	瓶島	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農業形態	個人	0 0.0%	2 2.4%	4 4.9%	4 4.9%	3 3.7%	1 1.2%	2 2.4%	5 14.6%	1 1.2%	0 0.0%	5 6.1%
法人	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%

	きんかん	ぶどう	茶	たばこ	菊	牛乳	牛肉	豚肉	鶏肉(ブロイラー)	卵	しいたけ	たけのこ	その他
全体	12 11.7%	8 7.8%	10 9.7%	2 1.9%	0 0.0%	1 1.0%	36 35.0%	1 1.0%	4 3.9%	1 1.0%	2 1.9%	1 1.0%	11 10.7%
年齢	40歳未満	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%
	50歳代	4 16.0%	2 8.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.0%
	60歳以上	5 9.3%	5 9.3%	6 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 37.0%	0 0.0%	2 3.7%	0 0.0%	1 1.9%	7 13.0%
居住地	川内	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	10 43.5%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%
	樋脇	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%
	入来	6 35.3%	0 0.0%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 23.5%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%
	東郷	4 20.0%	7 35.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
	祁答院	4 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	13 56.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.3%	3 13.0%
	瓶島	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	農業形態	個人	9 11.0%	7 8.5%	5 6.1%	2 2.4%	0 0.0%	1 1.2%	31 37.4%	0 0.0%	3 3.7%	1 1.2%	1 1.2%
法人	3 15.0%	1 5.0%	4 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%

【問9】問8で回答した経営作物の主要な出荷先は次のうちどこですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「農協」と回答した人が最も多く、7割を超えている。



《その他の意見》

その他の意見	件数
市場	11
個人への直売	4
IT	2
業者	1
薩摩子牛せり市場	1
指定先	1
自社販売(自社小売店)	1
自宅販売	1
食肉市場	1
間屋	1

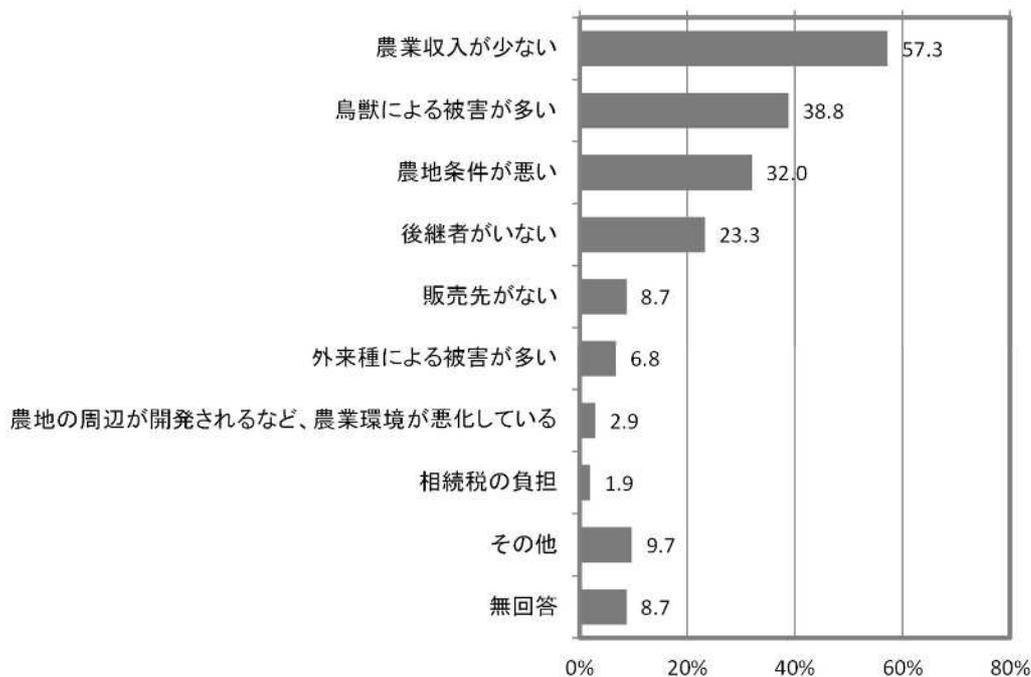
■各属性のクロス集計結果

	合計	農協	スーパーマーケット	八百屋等の小売店	道の駅・農産物直売所	百貨店・デパート	コンビニエンスストア	インターネットによる産地直送	宅配サービス(7以外)	その他	無回答	
全体	103 100.0%	75 72.8%	12 11.7%	4 3.9%	16 15.5%	5 4.9%	2 1.9%	5 4.9%	5 4.9%	28 27.2%	3 2.9%	
年齢	40歳未満	9 100.0%	7 77.8%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	
	40歳代	15 100.0%	12 80.0%	2 13.3%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	6 40.0%	0 0.0%	
	50歳代	25 100.0%	18 72.0%	3 12.0%	0 0.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 32.0%	0 0.0%	
	60歳以上	54 100.0%	38 70.4%	7 13.0%	1 1.9%	9 16.7%	4 7.4%	2 3.7%	3 5.6%	4 7.4%	12 22.2%	3 5.6%
居住地	川内	23 100.0%	15 65.2%	4 17.4%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 39.1%	0 0.0%	
	樋脇	15 100.0%	12 80.0%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 40.0%	0 0.0%	
	入来	17 100.0%	14 82.4%	1 5.9%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	
	東郷	20 100.0%	13 65.0%	5 25.0%	1 5.0%	4 45.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	9 45.0%	0 0.0%	
	祁答院	23 100.0%	19 82.6%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%
	甌島	5 100.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%
農業形態	個人	82 100.0%	64 78.0%	8 9.8%	4 4.9%	10 12.2%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	5 6.1%	20 24.4%	3 3.7%
	法人	20 100.0%	10 50.0%	3 15.0%	0 0.0%	5 25.0%	3 15.0%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%	8 40.0%	0 0.0%

【問 10】あなたが農業を続ける上で問題となっていることは何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「農業収入が少ない」と回答した人が6割弱と最も多く、次に「鳥獣による被害が多い」と回答した人が4割近くになっている。

居住地別に見ると、甌島では「農地条件が悪い」と回答した人が6割と他の居住地より多い。



《その他の意見》

- ・ 国の農政が将来を見据えてはっきりしていないのが問題
- ・ 畑地の有効利用の為、灌水施設の充実、水田地の排水対策
- ・ 湿田地が多い、条件の良い農地がない
- ・ 農産物の単価
- ・ 人手不足、労働力不足
- ・ 人件費、経費がかかる
- ・ 農業機械等や施設が高額で更新できない

■各属性のクロス集計結果

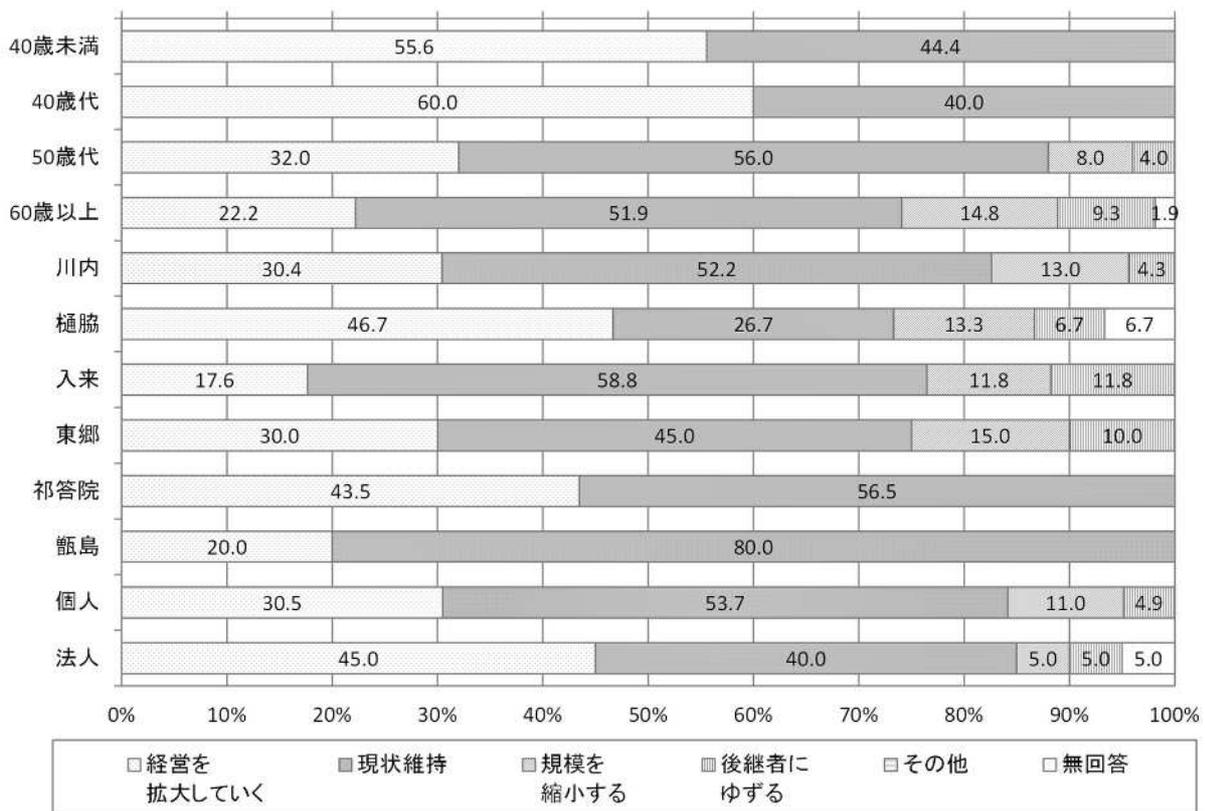
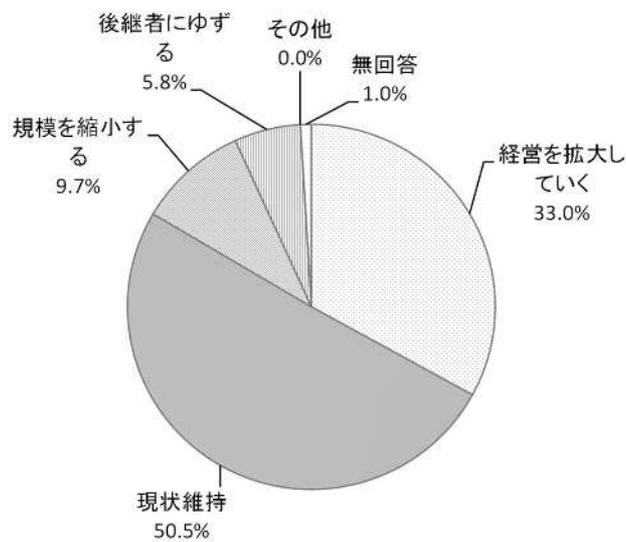
	合計	相続税の負担	後継者がいない	農業収入が少ない	販売先がない	鳥獣による被害が多い	外来種による被害が多い	農地の周辺が開発されるなど、農業環境が悪化している	農地条件が悪い	その他	無回答
全体	103 100.0%	2 1.9%	24 23.3%	59 57.3%	9 8.7%	40 38.8%	7 6.8%	3 2.9%	33 32.0%	10 9.7%	9 8.7%
年齢	40歳未満	9 100.0%	0 0.0%	1 11.1%	6 66.7%	1 11.1%	5 55.6%	1 11.1%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%
	40歳代	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 66.7%	2 13.3%	3 20.0%	1 6.7%	4 26.7%	2 13.3%	1 6.7%
	50歳代	25 100.0%	2 8.0%	5 20.0%	15 60.0%	1 4.0%	9 36.0%	2 8.0%	12 48.0%	3 12.0%	0 0.0%
	60歳以上	54 100.0%	0 0.0%	18 33.3%	28 51.9%	5 9.3%	23 42.6%	3 5.6%	13 24.1%	3 5.6%	8 14.8%
居住地	川内	23 100.0%	0 0.0%	5 21.7%	13 56.5%	1 4.3%	7 30.4%	2 8.7%	6 26.1%	3 13.0%	4 17.4%
	種臨	15 100.0%	0 0.0%	2 13.3%	7 46.7%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	7 46.7%	2 13.3%	2 13.3%
	入来	17 100.0%	0 0.0%	5 29.4%	11 64.7%	2 11.8%	11 64.7%	0 0.0%	4 23.5%	2 11.8%	0 0.0%
	東郷	20 100.0%	0 0.0%	6 30.0%	15 75.0%	3 15.0%	7 35.0%	2 10.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0.0%
	祁答院	23 100.0%	1 4.3%	5 21.7%	12 52.2%	2 8.7%	12 52.2%	1 4.3%	7 30.4%	2 8.7%	2 8.7%
	甌島	5 100.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	1 20.0%
農業形態	個人	82 100.0%	2 2.4%	20 24.4%	48 58.5%	3 3.7%	33 40.2%	5 6.1%	28 34.1%	9 11.0%	5 6.1%
	法人	20 100.0%	0 0.0%	4 20.0%	11 55.0%	5 25.0%	7 35.0%	2 10.0%	5 25.0%	1 5.0%	4 20.0%

【問 11】あなたは、自身の農業の経営について、今後(概ね5年以内に)どのようにしていこうと考えていますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

「現状維持」と回答した人が約5割と最も多く、次に「経営を拡大していく」と回答した人が3割を超えている。

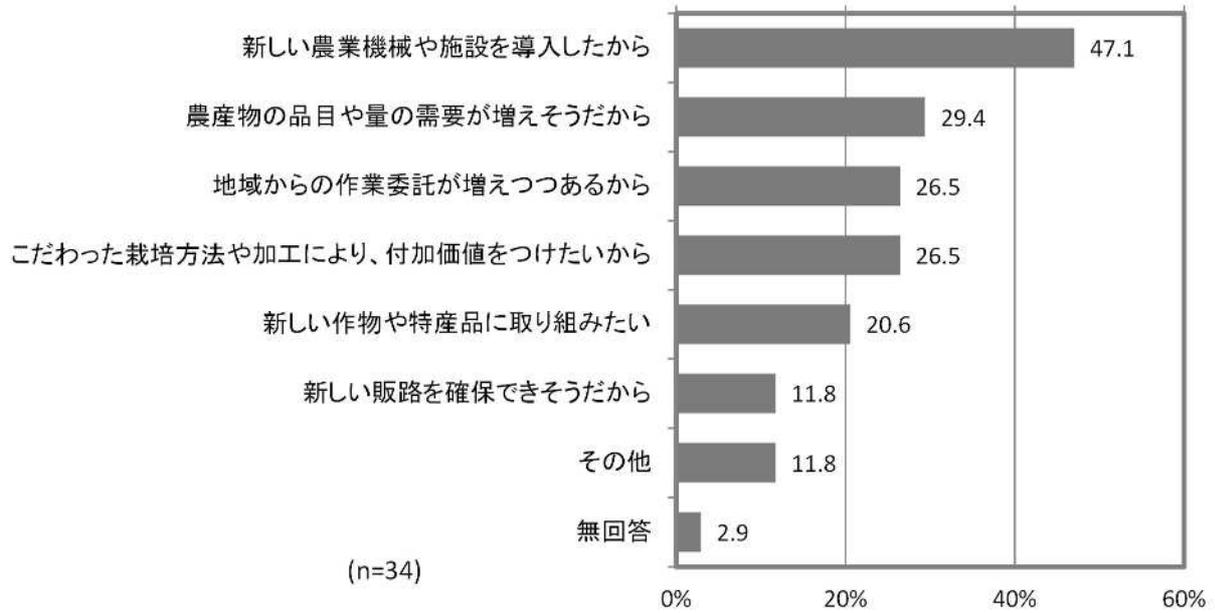
年齢別に見ると、40歳代以下では「経営を拡大していく」と回答した人が6割弱と50歳以上の人より多く、居住地別に見ると、樋脇では「経営を拡大していく」と回答した人が5割弱と他の居住地より多い。

農業形態別に見ると、個人では「現状維持」と回答した人が多いが、法人では「経営を拡大していく」と回答した人が多い。



【問 12】 問 11 で「1」を選択された方にお聞きします。農業経営を拡大する理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「新しい農業機械や施設を導入したから」と回答した人が5割弱と最も多く、次に「農産物の品目や量の需要が増えそうだから」と回答した人が3割近くになっている。

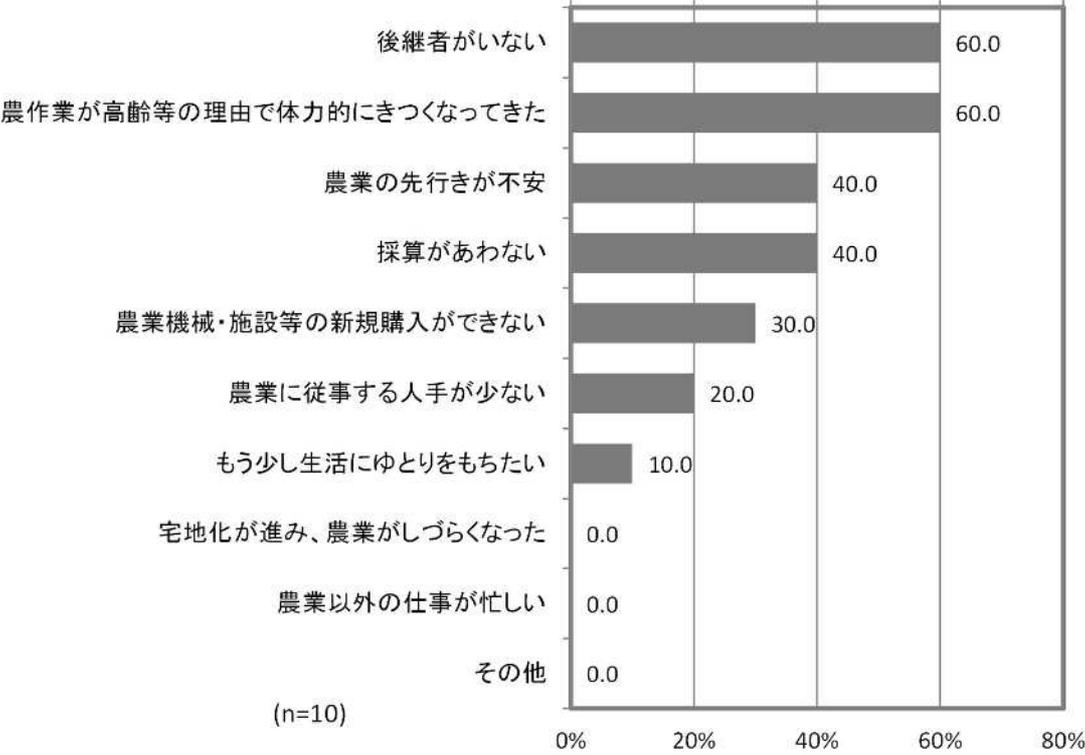


《その他の意見》

- ・ 耕作放棄地の増加＝農家の高齢化
- ・ 作付面積の拡大
- ・ 高齢による離農が増える為

【問 13】 問 11 で「3」を選択された方にお聞きします。農業経営の規模を縮小する理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

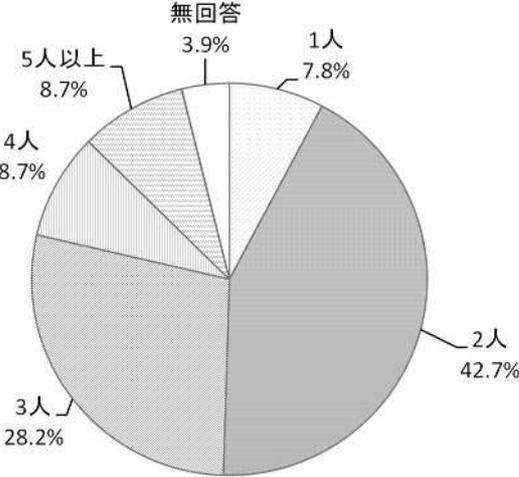
「後継者がいない」「農作業が高齢等の理由で体力的にきつくなってきた」と回答した人が 6 割と最も多く、次に「農業の先行きが不安」「採算があわない」と回答した人が 4 割となっている。



3 農業の担い手、後継者についておたずねします。

【問 14】 あなたの家(会社・法人)の農業従事者の人数は何人ですか。以下のカッコの中に人数をお書きください。

「2人」と回答した人が 4 割強と最も多く、次に「3人」と回答した人が 3 割近くになっている。

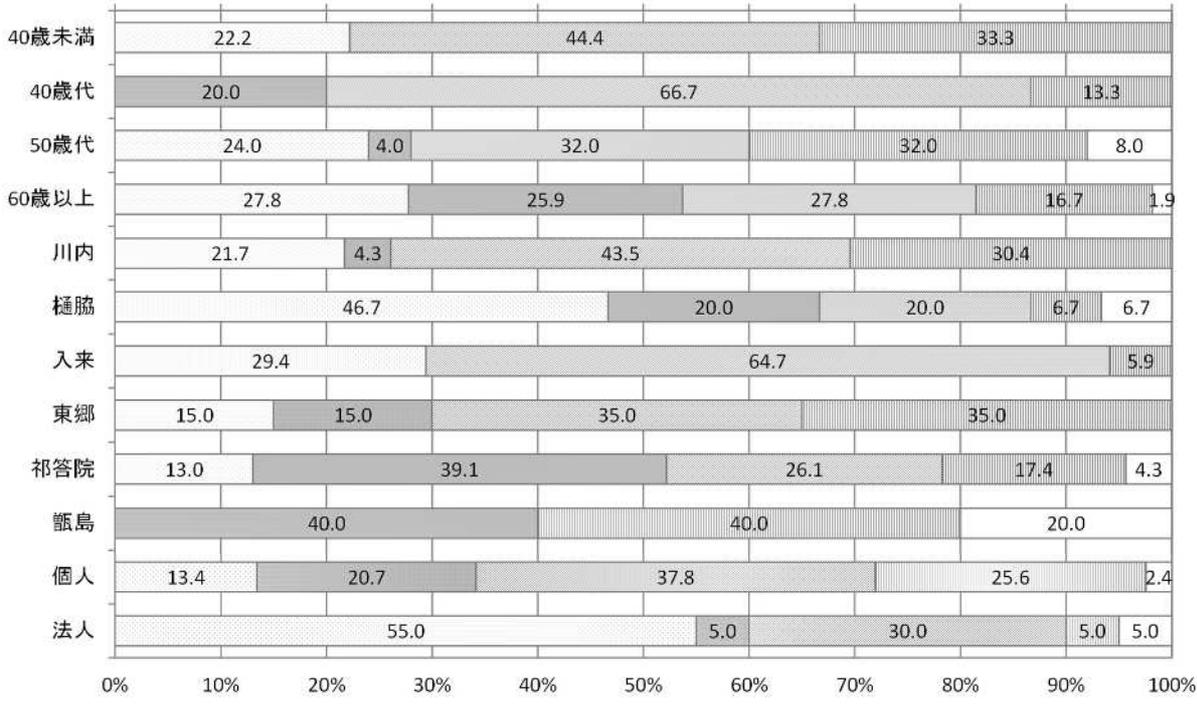
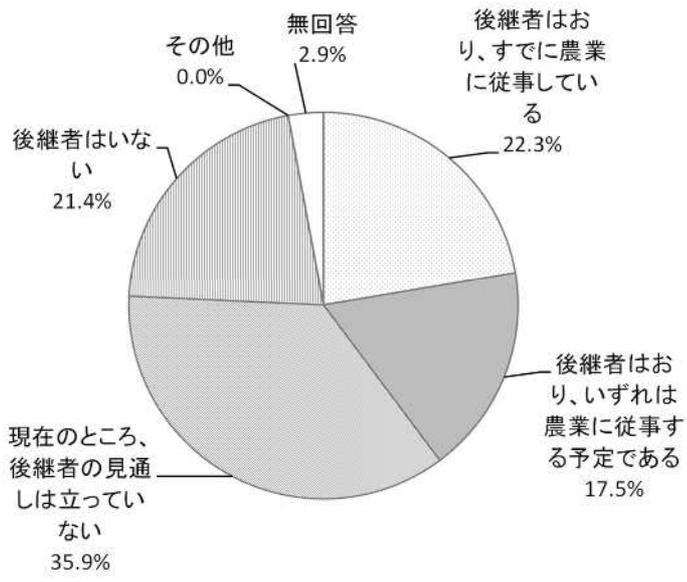


【問15】 あなたの家(会社・法人)には、農業の後継者がいますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

「現在のところ、後継者の見通しは立っていない」と回答した人が4割弱と最も多く、「後継者はいない」と回答した人を合すると農業の後継者がいない人は6割近くになっている。

居住地別に見ると、樋脇では7割弱、祁答院では5割強の人が後継者がいると回答している一方で、川内、入来、東郷では7割の人には後継者がいないもしくは見通しが立っていないと回答している。

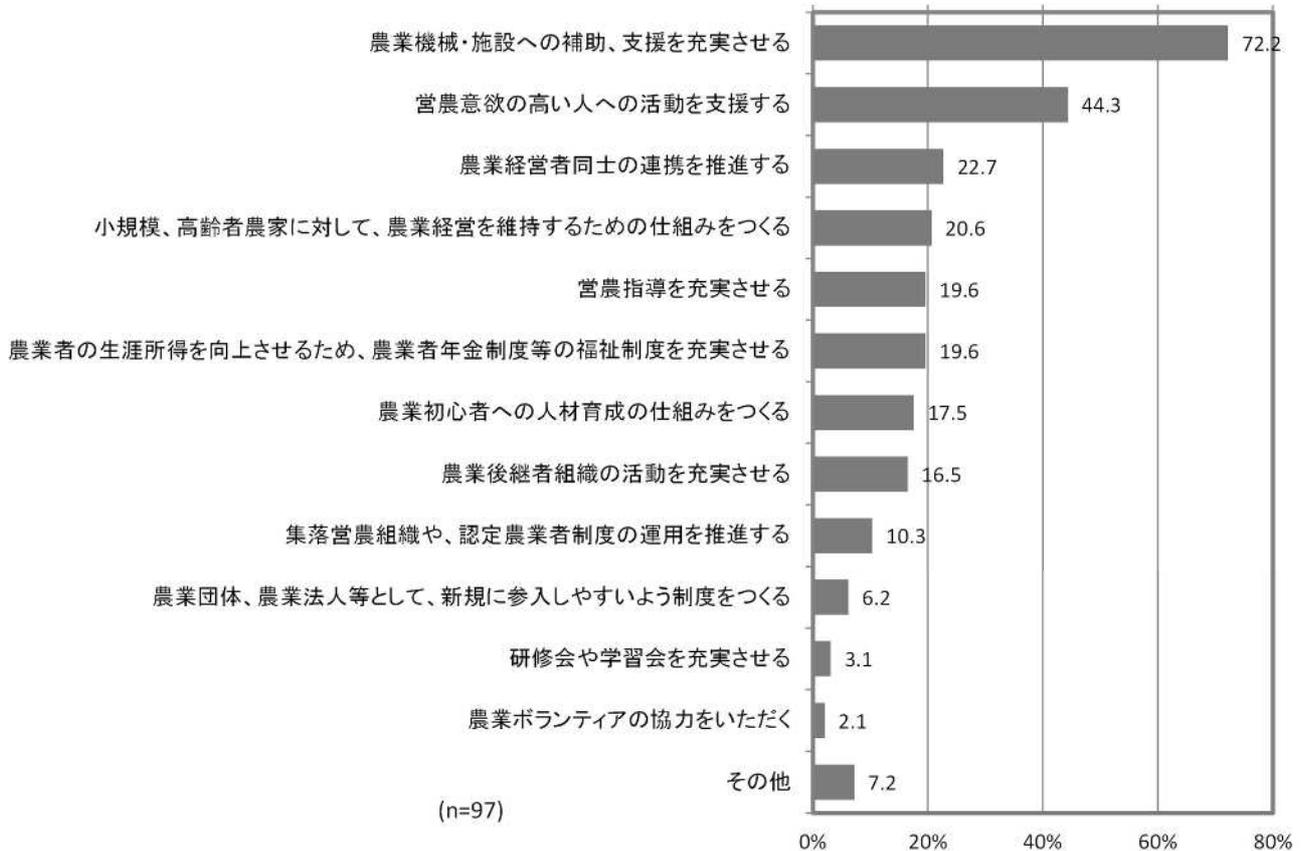
農業形態別に見ると、個人では後継者がいないもしくは見通しが立っていないと回答した人が多いが、法人では後継者がいると回答した人が多い。



後継者はおりに、すでに農業に従事している  
 後継者はおりに、いずれは農業に従事する予定である  
 現在のところ、後継者の見通しは立っていない  
 後継者はいない  
 その他  
 無回答

【問 16】 農業の担い手育成や確保のためには、あなたはどのような取組が必要だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選び、○印をつけてください。

「農業機械・施設への補助、支援を充実させる」と回答した人が7割強と最も多く、次に「営農意欲の高い人への活動を支援する」と回答した人が4割を超えている。



《その他の意見》

- ・ 農地集約を行政で進めて欲しい
- ・ 農業の良さ、必要性を若者(学生、小学生から)教える努力
- ・ 農地銀行等の設立
- ・ 再生産可能な作物の価格を消費者に理解してもらう活動
- ・ 農業所得が上がれば、おのずと担い手もできる
- ・ 生産物の価格の安定
- ・ 安定した収入が期待できる農業の促進

■各属性のクロス集計結果

	合計	農業経営者同士の連携を推進する	農業後継者組織の活動を充実させる	農業機械・施設への補助、支援を充実させる	営農意欲の高い人への活動を支援する	農業初心者への人材育成の仕組みをつくる	集落営農組織や、認定農業者制度の運用を推進する	小規模、高齢者農家に対して、農業経営を維持するための仕組みをつくる	農業団体、農業法人等として、新規に参入しやすいよう制度をつくる	営農指導を充実させる	研修会や学習会を充実させる	農業ボランティアの協力をいただく	農業者の生涯所得を向上させるため、農業者年金制度等の福祉制度を充実させる	その他	
全体	97	22	16	70	43	17	10	20	6	19	3	2	19	7	
	100.0 %	22.7 %	16.5 %	72.2 %	44.3 %	17.5 %	10.3 %	20.6 %	6.2 %	19.6 %	3.1 %	2.1 %	19.6 %	7.2 %	
年齢	40歳未満	3	1	1	5	3	1	0	0	0	0	0	2	3	
		100.0 %	12.5 %	12.5 %	62.5 %	37.5 %	37.5 %	12.5 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	25.0 %	37.5 %
	40歳代	15	2	2	13	10	10	0	1	1	2	0	0	5	
		100.0 %	13.3 %	13.3 %	86.7 %	66.7 %	66.7 %	0.0 %	6.7 %	6.7 %	13.3 %	0.0 %	0.0 %	33.3 %	6.7 %
50歳代	23	5	4	15	9	4	1	7	1	6	1	1	4		
	100.0 %	21.7 %	17.4 %	85.2 %	39.1 %	15.2 %	3.0 %	30.4 %	3.0 %	26.1 %	3.0 %	3.0 %	13.0 %		
60歳以上	51	14	9	37	21	8	8	10	4	11	1	1	8		
	100.0 %	27.5 %	17.6 %	72.5 %	41.2 %	15.7 %	15.7 %	19.6 %	7.8 %	21.6 %	2.0 %	2.0 %	15.7 %		
居住地	川内	21	4	4	17	10	7	4	0	4	1	0	4		
		100.0 %	19.0 %	19.0 %	81.0 %	47.6 %	33.3 %	19.0 %	0.0 %	19.0 %	4.8 %	0.0 %	19.0 %		
	桶狭	14	4	2	11	7	0	4	3	2	2	1	1		
		100.0 %	28.6 %	14.3 %	78.6 %	50.0 %	0.0 %	28.6 %	21.4 %	14.3 %	14.3 %	7.1 %	7.1 %		
	入来	16	3	4	12	8	3	2	2	0	3	1	1		
		100.0 %	18.8 %	25.0 %	75.0 %	50.0 %	18.8 %	0.0 %	12.5 %	0.0 %	18.8 %	6.3 %	6.3 %		
	東郷	19	3	2	12	10	5	2	5	2	3	0	2		
	100.0 %	15.5 %	10.5 %	63.2 %	52.6 %	26.3 %	10.5 %	26.3 %	13.2 %	15.8 %	0.0 %	10.5 %			
祁答院	23	7	3	15	7	4	3	6	1	3	0	0			
	100.0 %	30.4 %	13.0 %	65.2 %	30.4 %	17.4 %	13.0 %	26.1 %	4.3 %	13.0 %	0.0 %	0.0 %			
飯島	4	1	1	3	1	1	2	0	1	0	0	0			
	100.0 %	25.0 %	25.0 %	75.0 %	25.0 %	25.0 %	50.0 %	0.0 %	25.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %			
農業形態	個人	78	16	11	56	36	11	7	19	5	16	2	15		
		100.0 %	20.5 %	14.1 %	71.8 %	46.2 %	14.1 %	9.0 %	24.4 %	6.4 %	20.5 %	2.6 %	19.2 %		
法人	18	5	4	13	7	6	3	1	1	3	1	4			
	100.0 %	27.8 %	22.2 %	72.2 %	38.9 %	33.3 %	16.7 %	5.6 %	5.6 %	16.7 %	5.6 %	22.2 %			

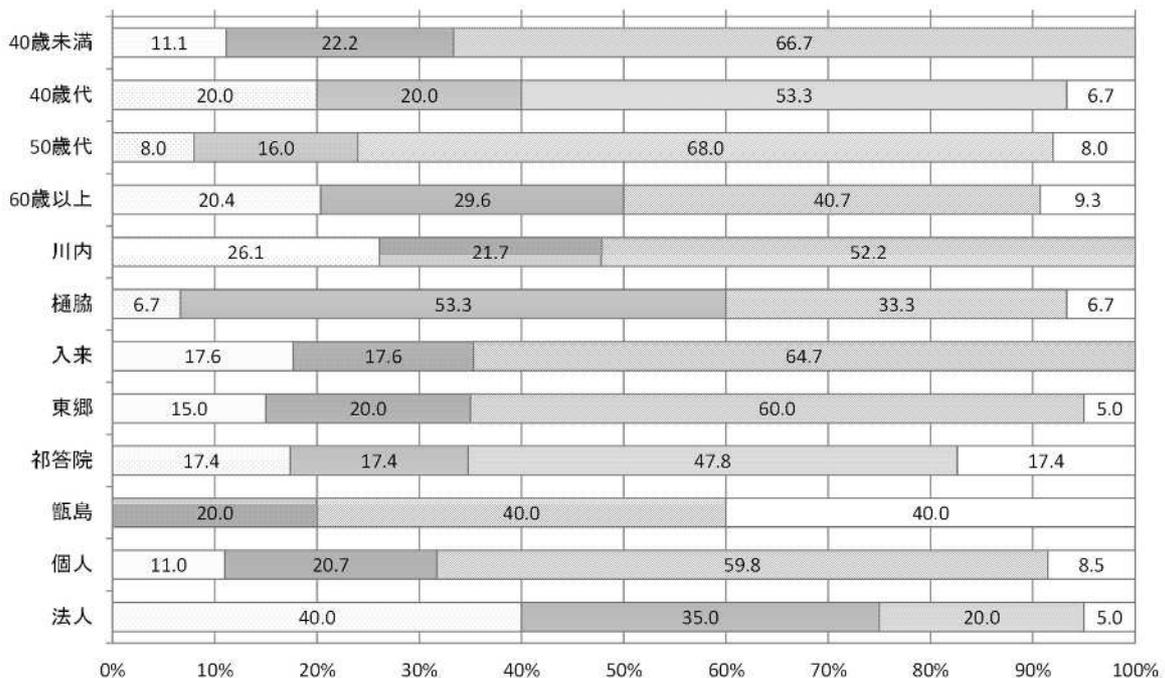
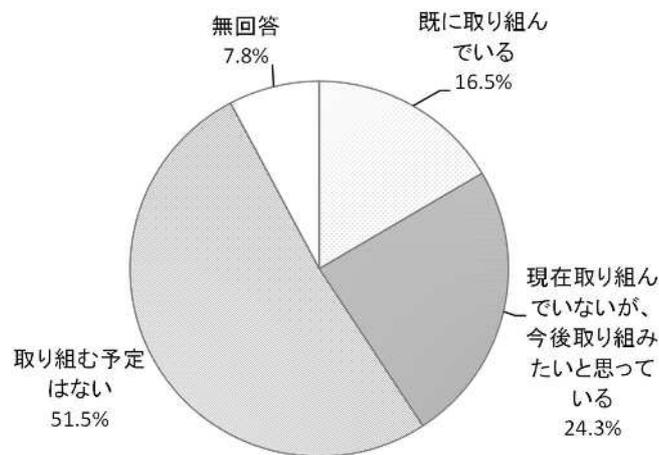
#### 4 六次産業化についておたずねします。

【問17】 あなたの家(法人・会社)では現在、六次産業化に取り組んでいますか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

「取り組む予定はない」と回答した人が5割強と最も多いが、「既に取り組んでいる」「現在取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている」と回答した人を合すると約4割の人が取組意向があると回答している。

年齢別に見ると、60歳以上では取組意向がある人が5割と他の年代よりも多く、居住地別に見ると、樋脇では取組意向がある人が6割と他の居住地よりも多い。

農業形態別に見ると、個人では「取り組む予定はない」と回答した人が6割弱を占めるが、法人では7割以上の人が取組意向を示している。



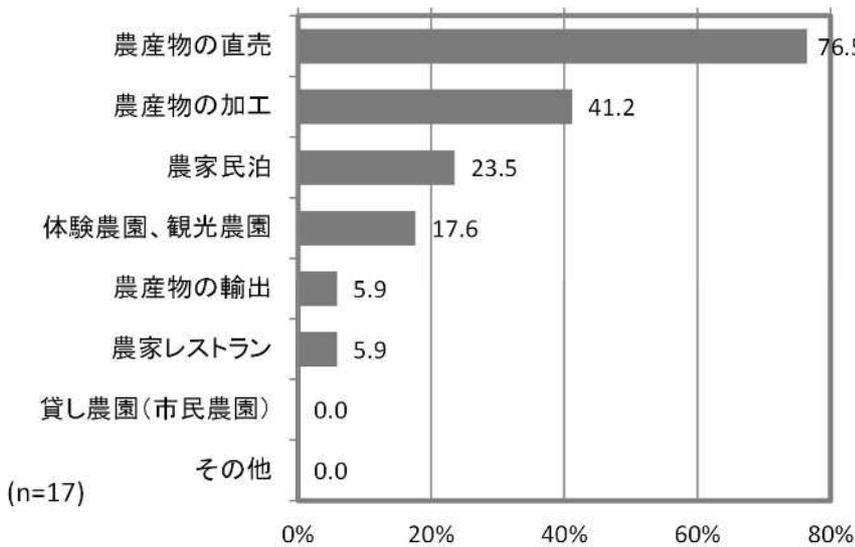
□ 既に取り組んでいる   ■ 現在取り組んでいないが、今後取り組みたいと思っている   ▨ 取り組む予定はない   □ 無回答

【問 18】 問 17 で「1」を選択された方にお聞きします。

【問 18-①】 現在取り組んでいるものは次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。また、その取組の概要を具体的にお書きください。

《現在取り組んでいるもの》

「農産物の直売」と回答した人が8割弱と最も多く、次に「農産物の加工」と回答した人が4割を超えている。



《取組の概要》

- ・ 農家民泊は平成 23 年 12 月より取り組んでいる。
- ・ 自社農場で生産、肥育、販売、外食まですべて自社で取り組んでいる。(肉用牛)
- ・ 農産物の直売所等で販売。ぶどう狩り、梨狩りなど。
- ・ きんかんの加工(ジャム、シロップ漬け)し、直売所や特産品コーナー等で販売している。
- ・ 米販売。
- ・ ゴーヤ、漬け物販売。農泊。
- ・ 野菜を漬け物にし、スーパーの生産者コーナーに陳列、販売している。グリーンツーリズムによる修学旅行生の受入。
- ・ 自分の家で売っている。

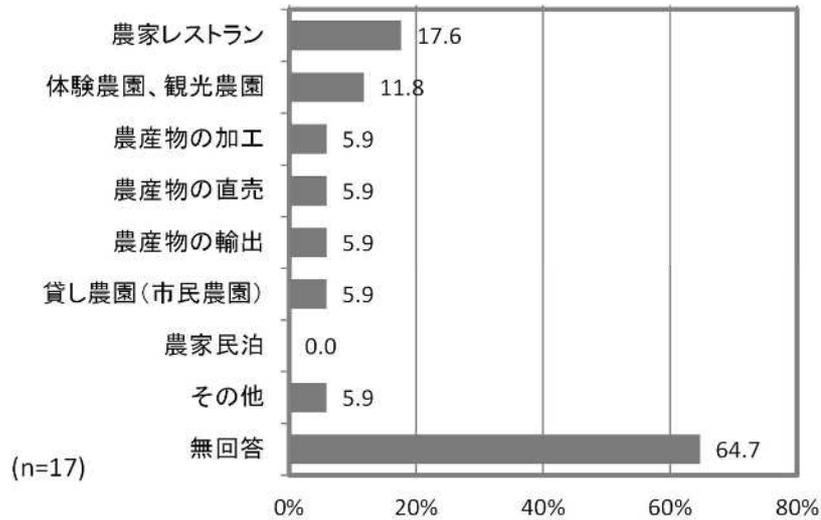
■各属性のクロス集計結果

		合計	農産物の加工	農産物の直売	農産物の輸出	農家民泊	農家レストラン	体験農園 観光農園	貸し農園 (市民農園)	その他
全体		17 100.0 %	7 41.2 %	13 76.5 %	1 5.9 %	4 23.5 %	1 5.9 %	3 17.6 %	0 0.0 %	0 0.0 %
年齢	40歳未満	1 100.0 %	1 100.0 %	1 100.0 %	1 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	40歳代	3 100.0 %	2 66.7 %	3 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	50歳代	2 100.0 %	1 50.0 %	1 50.0 %	0 0.0 %	1 50.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	60歳以上	11 100.0 %	3 27.3 %	8 72.7 %	0 0.0 %	3 27.3 %	1 9.1 %	3 27.3 %	0 0.0 %	0 0.0 %
居住地	川内	6 100.0 %	2 33.3 %	4 66.7 %	0 0.0 %	1 16.7 %	1 16.7 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	樋脇	1 100.0 %	0 0.0 %	1 100.0 %	0 0.0 %	1 100.0 %	0 0.0 %	1 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	入来	3 100.0 %	2 66.7 %	3 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	東郷	3 100.0 %	2 66.7 %	2 66.7 %	0 0.0 %	1 33.3 %	0 0.0 %	1 33.3 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	祁答院	4 100.0 %	1 25.0 %	3 75.0 %	1 25.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	甌島	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
農業形態	個人	9 100.0 %	4 44.4 %	5 55.6 %	0 0.0 %	4 44.4 %	0 0.0 %	3 33.3 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	法人	8 100.0 %	3 37.5 %	8 100.0 %	1 12.5 %	0 0.0 %	1 12.5 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %

【問 18-②】 問 18-①の取組以外に今後実施したいと思っている取組はありますか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。また、その取組の概要をお書きください。

《今後実施したい取組》

「農家レストラン」と回答した人が最も多く、2割近くになっている。



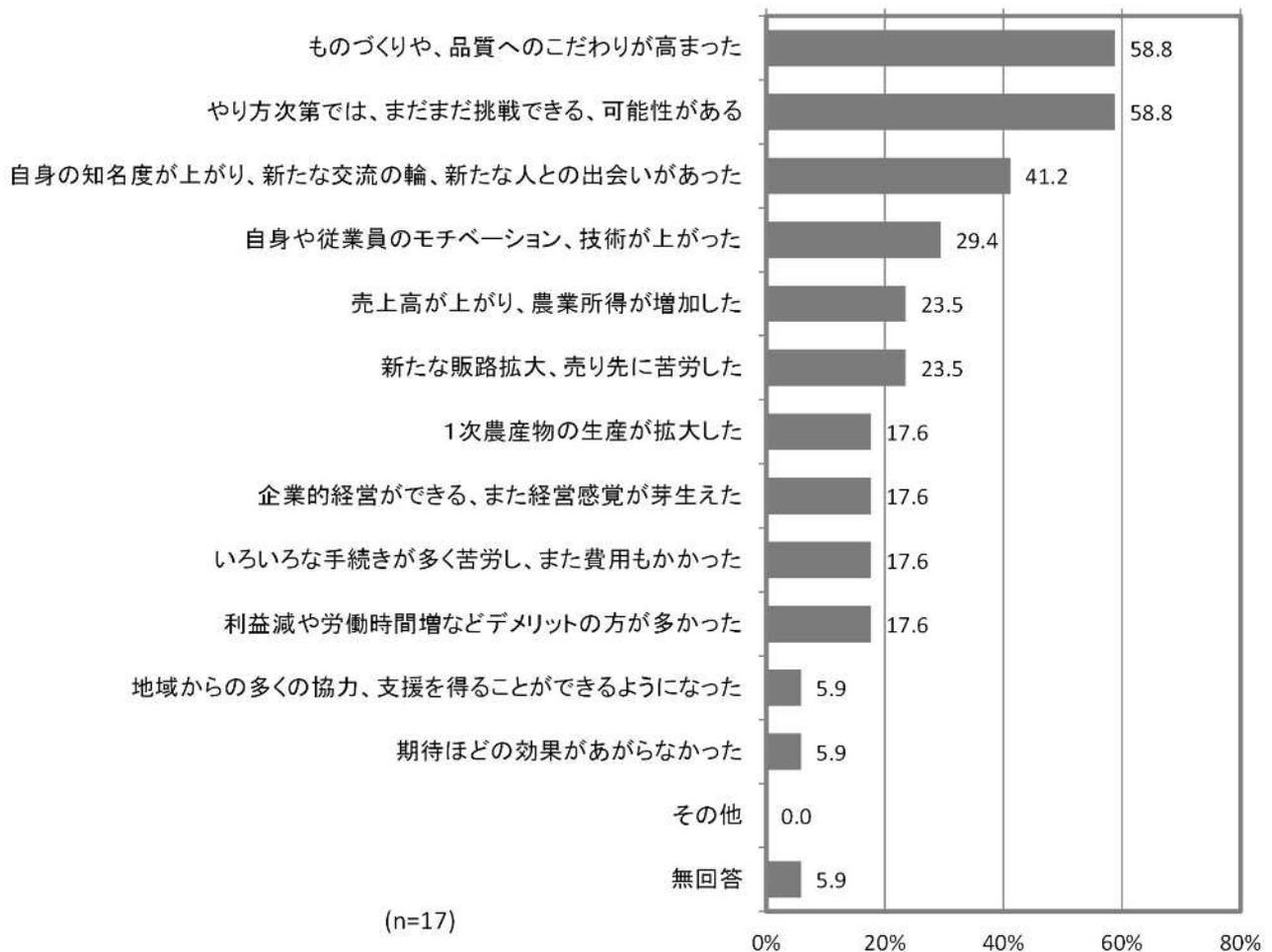
《その他の意見》  
・新しい小売店

■各属性のクロス集計結果

	合計	農産物の加工	農産物の直売	農産物の輸出	農家民泊	農家レストラン	体験農園 観光農園	貸し農園 (市民農園)	その他	無回答
全体	17 100.0 %	1 5.9 %	1 5.9 %	1 5.9 %	0 0.0 %	3 17.6 %	2 11.8 %	1 5.9 %	1 5.9 %	11 64.7 %
年齢	40歳未満	1 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	40歳代	3 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 33.3 %	1 33.3 %	0 0.0 %	0 0.0 %	2 66.7 %
	50歳代	2 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	2 100.0 %
	60歳以上	11 100.0 %	1 9.1 %	1 9.1 %	1 9.1 %	0 0.0 %	1 9.1 %	1 9.1 %	1 9.1 %	7 63.6 %
居住地	川内	6 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 16.7 %	5 83.3 %
	樋脇	1 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 100.0 %
	入来	3 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 33.3 %	2 66.7 %	1 33.3 %	0 0.0 %	1 33.3 %
	東郷	3 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	3 100.0 %
	祁答院	4 100.0 %	1 25.0 %	1 25.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	2 50.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 25.0 %
	甌島	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
農業形態	個人	9 100.0 %	1 11.1 %	1 11.1 %	1 11.1 %	1 11.1 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	7 77.8 %
	法人	8 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	2 25.0 %	2 25.0 %	1 12.5 %	1 12.5 %	4 50.0 %

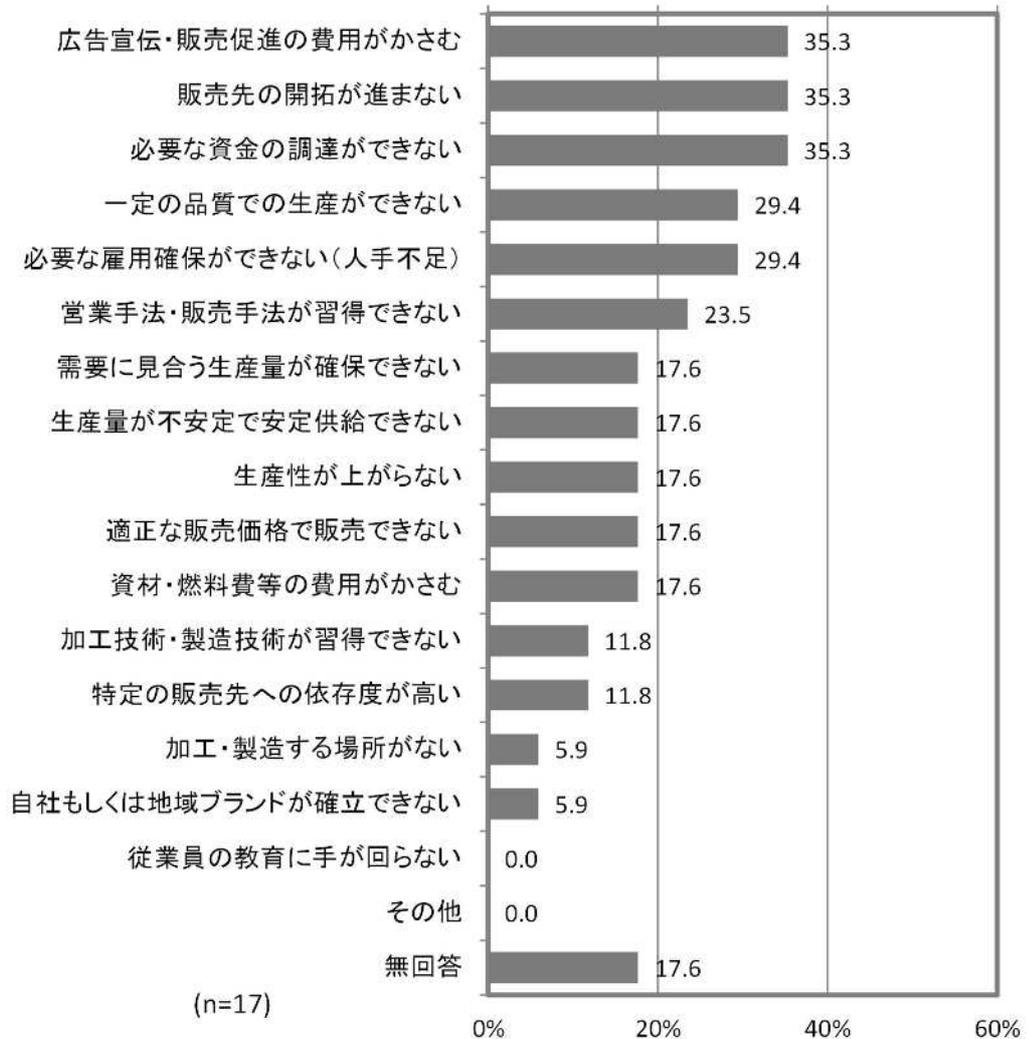
【問 18-③】 六次産業化に取り組んでみて効果があったこと、または率直な感想は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「ものづくりや、品質へのこだわりが高まった」「やり方次第では、まだまだ挑戦できる、可能性がある」と回答した人が6割弱と最も多く、次に「自身の知名度が上がり、新たな交流の輪、新たな人との出会いがあった」と回答した人が4割を超えている。



【問 18-④】 取組を進める上で、現在、問題となっていることは何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「広告宣伝・販売促進の費用がかさむ」「販売先の開拓が進まない」「必要な資金の調達ができない」と回答した人が4割弱と最も多く、次に「一定の品質での生産ができない」「必要な雇用確保ができない（人手不足）」と回答した人が3割近くになっている。

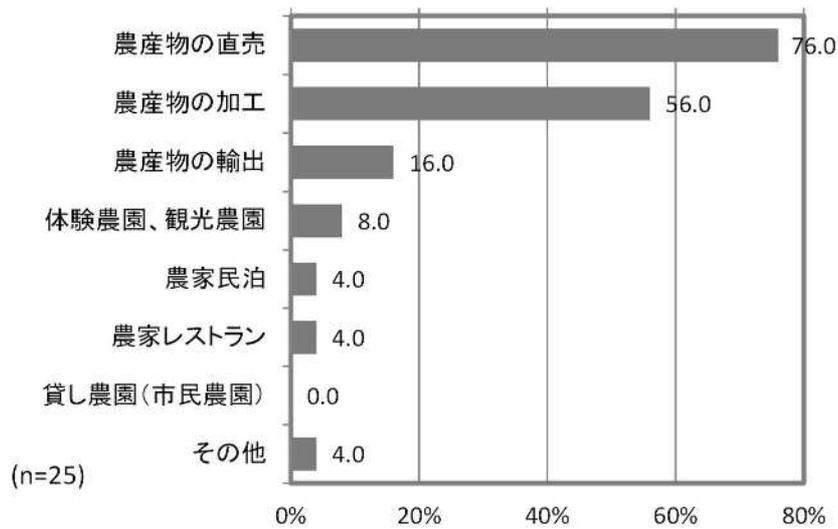


【問 19】 問 17 で「2」を選択された方にお聞きします。

【問 19-①】 今後取り組みたいと思っているものは次のうちどれですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。また、その取組の概要をお書きください。

《今後実施したい取組み》

「農産物の直売」と回答した人が8割弱と最も多く、次に「農産物の加工」と回答した人が6割近くになっている。



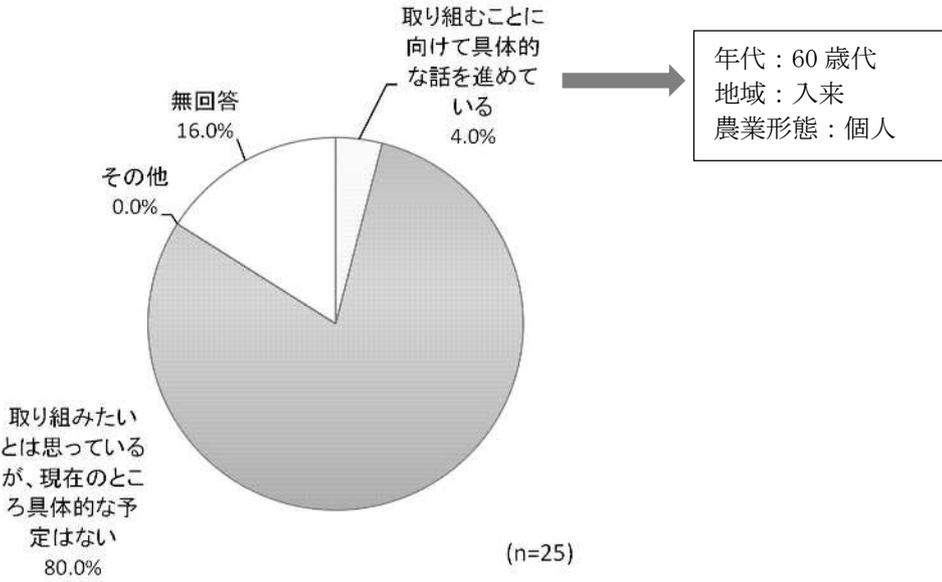
《その他の意見》  
・ サービスエリアでの直売など

■各属性のクロス集計結果

		合計	農産物の加工	農産物の直売	農産物の輸出	農家民泊	農家レストラン	体験農園 観光農園	貸し農園 (市民農園)	その他
全体		25 100.0 %	14 56.0 %	19 76.0 %	4 16.0 %	1 4.0 %	1 4.0 %	2 8.0 %	0 0.0 %	1 4.0 %
年齢	40歳未満	2 100.0 %	0 0.0 %	2 100.0 %	1 50.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	40歳代	3 100.0 %	2 66.7 %	2 66.7 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	50歳代	4 100.0 %	4 100.0 %	3 75.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	60歳以上	16 100.0 %	8 50.0 %	12 75.0 %	2 12.5 %	1 6.3 %	1 6.3 %	1 6.3 %	0 0.0 %	1 6.3 %
居住地	川内	5 100.0 %	2 40.0 %	5 100.0 %	1 20.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 20.0 %
	樋脇	8 100.0 %	4 50.0 %	5 62.5 %	2 25.0 %	0 0.0 %	1 12.5 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	入来	3 100.0 %	1 33.3 %	3 100.0 %	1 33.3 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	東郷	4 100.0 %	4 100.0 %	2 50.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	祁答院	4 100.0 %	2 50.0 %	3 75.0 %	0 0.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	1 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
	甌島	1 100.0 %	1 100.0 %	1 100.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %
農業形態	個人	17 100.0 %	10 58.8 %	13 76.5 %	2 11.8 %	1 5.9 %	1 5.9 %	1 5.9 %	0 0.0 %	1 5.9 %
	法人	7 100.0 %	4 57.1 %	5 71.4 %	2 28.6 %	0 0.0 %	0 0.0 %	1 14.3 %	0 0.0 %	0 0.0 %

【問 19-②】 問 19-①で回答した取組の検討状況はどの段階ですか。あてはまる番号を1つだけ選び、○印をつけてください。

「取り組みたいとは思っているが、現在のところ具体的な予定はない」と回答した人が最も多く、8割になっている。



【問 19-③】 取り組みたい意向があるにもかかわらず、これまで六次産業化に踏み込めない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

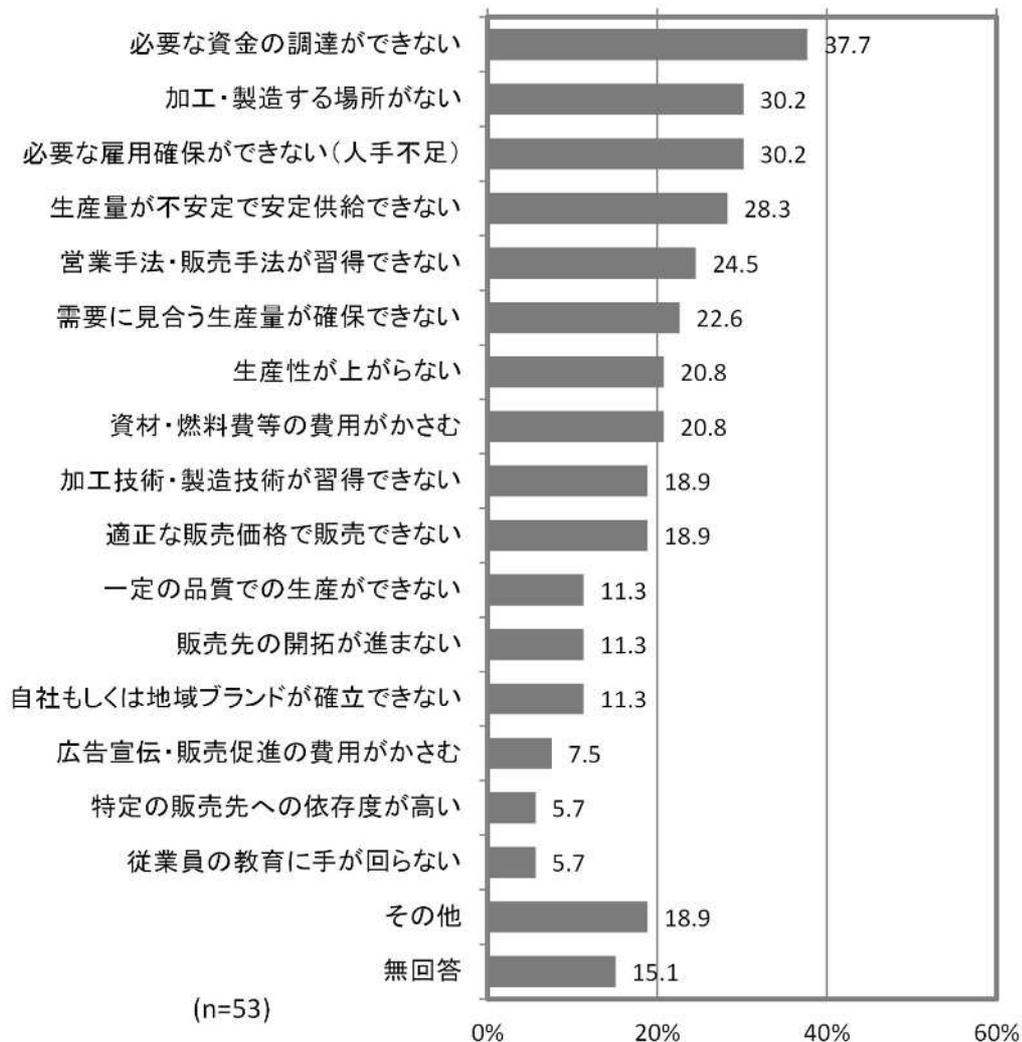
「加工技術・製造技術が習得できない」「必要な資金の調達ができない」と回答した人が4割と最も多く、次に「販売先の開拓が進まない」「営業手法・販売手法が習得できない」と回答した人が3割を超えている。



《その他の意見》  
・何をするのかわからない

【問 20】 問 17 で「3」を選択された方にお聞きします。あなたが六次産業化に取り組まない理由は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、○印をつけてください。

「必要な資金の調達ができない」と回答した人が4割弱と最も多く、次に「加工・製造する場所がない」「必要な雇用確保ができない（人手不足）」と回答した人が3割を超えている。

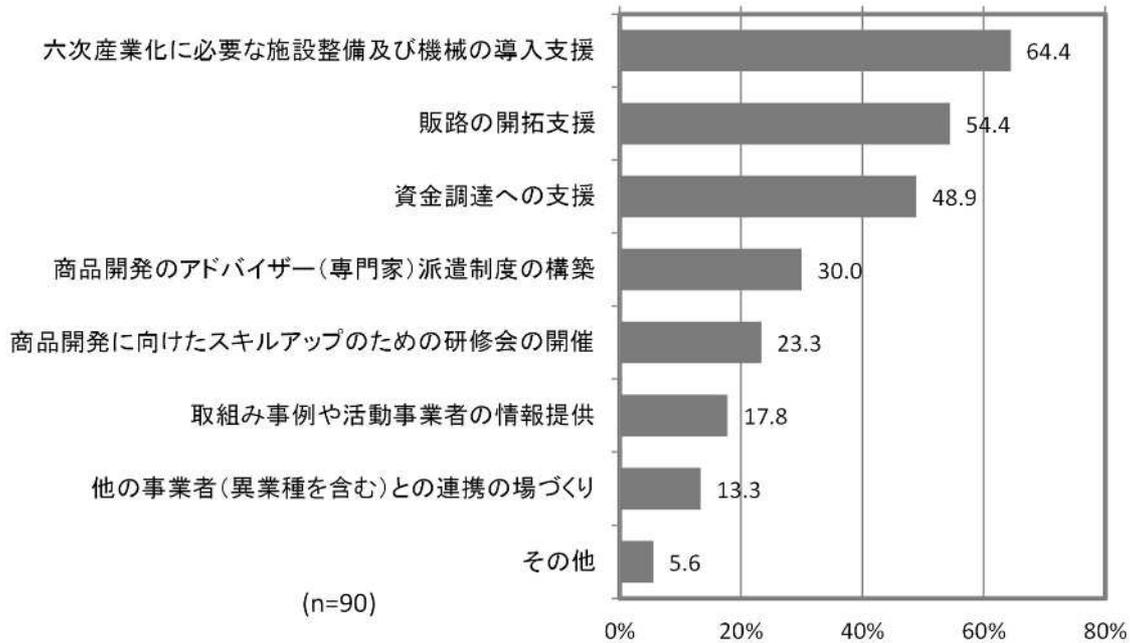


《その他の意見》

- ・ 高齢で後継者が不明
- ・ 畜産業で無理
- ・ まず現物で勝負できる努力をしたい
- ・ 野菜、作物の単価が安定していないのにする必要はあるのか考える
- ・ 今のところ取り組む必要がない
- ・ 牛の世話でいっぱいなのでできない（一年中）
- ・ 肥育素牛生産のため
- ・ 畑地がなく生産が足りない
- ・ 後継者がいない為

【問 21】 農業者が六次産業化に取り組む上で必要な支援は何だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選び、○印をつけてください。

「六次産業化に必要な施設整備及び機械の導入支援」と回答した人が6割強と最も多く、次に「販路の開拓支援」と回答した人が5割を超えている。



《その他の意見》

- ・ 一次産業者所得が無理せず上がれば方法は選ばない
- ・ 加工技術、製造技術の習得の場がない
- ・ 失敗事例の情報提供
- ・ 加工する物の需要調査、必要性、安定性
- ・ 畑地がなく生産量が足りない

■各属性のクロス集計結果

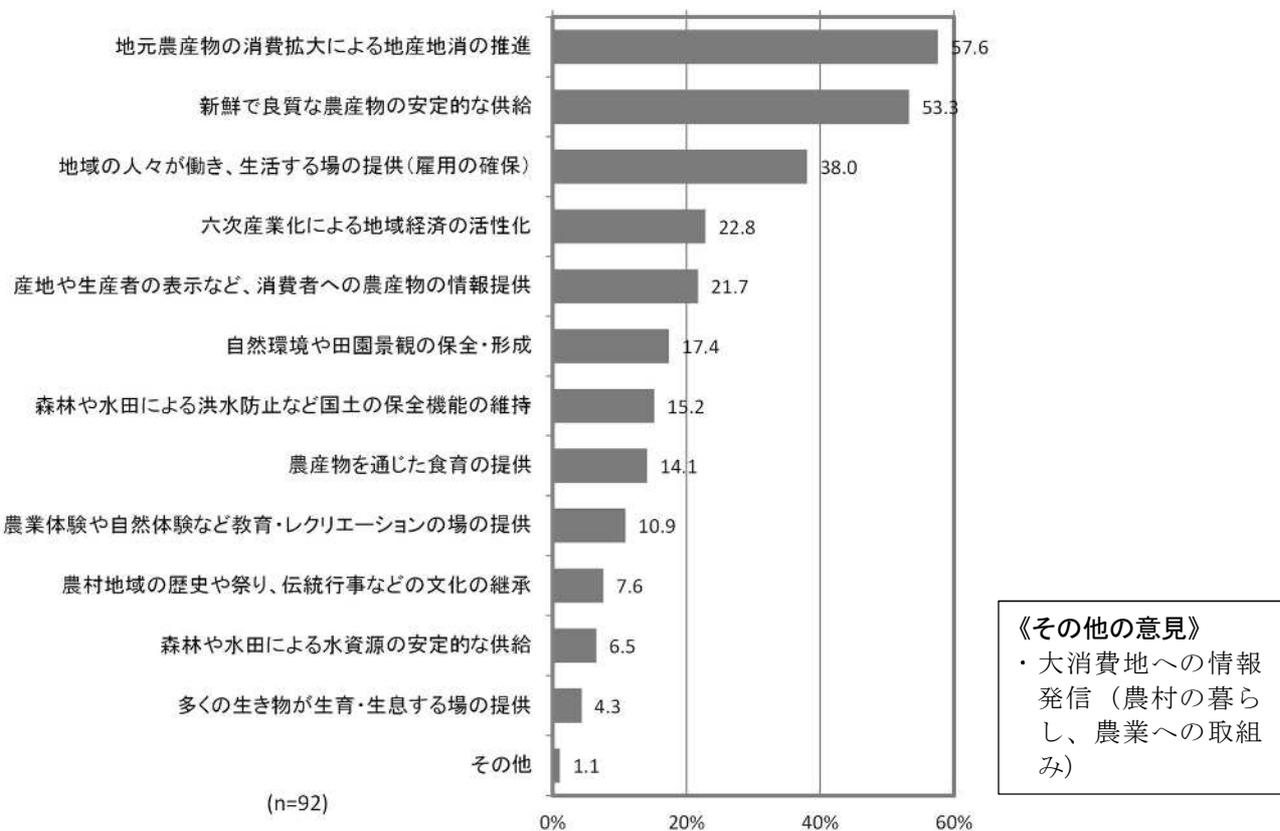
		合計	六次産業化に必要な施設整備及び機械の導入支援	商品開発に向けたスキルアップのための研修会の開催	商品開発のアドバイザー(専門家)派遣制度の構築	販路の開拓支援	他の事業者(異業種を含む)との連携の場づくり	取組み事例や活動事業者の情報提供	資金調達への支援	その他
全体		90 100.0%	58 64.4%	21 23.3%	27 30.0%	49 54.4%	12 13.3%	16 17.8%	44 48.9%	5 5.6%
年齢	40歳未満	9 100.0%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	3 33.3%
	40歳代	14 100.0%	12 85.7%	3 21.4%	3 21.4%	10 71.4%	2 14.3%	2 14.3%	8 57.1%	0 0.0%
	50歳代	23 100.0%	15 65.2%	5 21.7%	5 21.7%	13 56.5%	3 13.0%	6 26.1%	11 47.8%	2 8.7%
	60歳以上	44 100.0%	27 61.4%	11 25.0%	17 38.6%	22 50.0%	6 13.6%	8 18.2%	21 47.7%	0 0.0%
居住地	川内	21 100.0%	13 61.9%	3 14.3%	7 33.3%	10 47.6%	3 14.3%	2 9.5%	11 52.4%	2 9.5%
	樋脇	14 100.0%	10 71.4%	5 35.7%	2 14.3%	5 35.7%	3 21.4%	4 28.6%	8 57.1%	1 7.1%
	入来	15 100.0%	8 53.3%	5 33.3%	4 26.7%	10 66.7%	1 6.7%	5 33.3%	5 33.3%	0 0.0%
	東郷	20 100.0%	13 65.0%	4 20.0%	7 35.0%	12 60.0%	3 15.0%	1 5.0%	7 35.0%	2 10.0%
	祁答院	16 100.0%	10 62.5%	3 18.8%	6 37.5%	10 62.5%	1 6.3%	4 25.0%	10 62.5%	0 0.0%
	甌島	4 100.0%	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%
農業形態	個人	72 100.0%	47 65.3%	16 22.2%	20 27.8%	38 52.8%	9 12.5%	13 18.1%	34 47.2%	5 6.9%
	法人	17 100.0%	11 64.7%	4 23.5%	6 35.3%	11 64.7%	2 11.8%	3 17.6%	10 58.8%	0 0.0%

5 農業・農村の振興のお考えについておたずねします。

【問 22】あなたは、薩摩川内市の農業・農村がどのような役割を果たしていくことが重要であるとお考えですか。あてはまる番号を3つまで選び、○印をつけてください。

「地元農産物の消費拡大による地産地消の推進」と回答した人が6割弱と最も多く、次に「新鮮で良質な農産物の安定的な供給」と回答した人が5割を超えている。

年齢別に見ると、40歳未満では「地域の人々が働き、生活する場の提供（雇用の確保）」と回答した人が6割強と他の年代よりも多く、居住地別に見ると、祁答院では「地域の人々が働き、生活する場の提供（雇用の確保）」と回答した人が7割弱と他の居住地より多い。



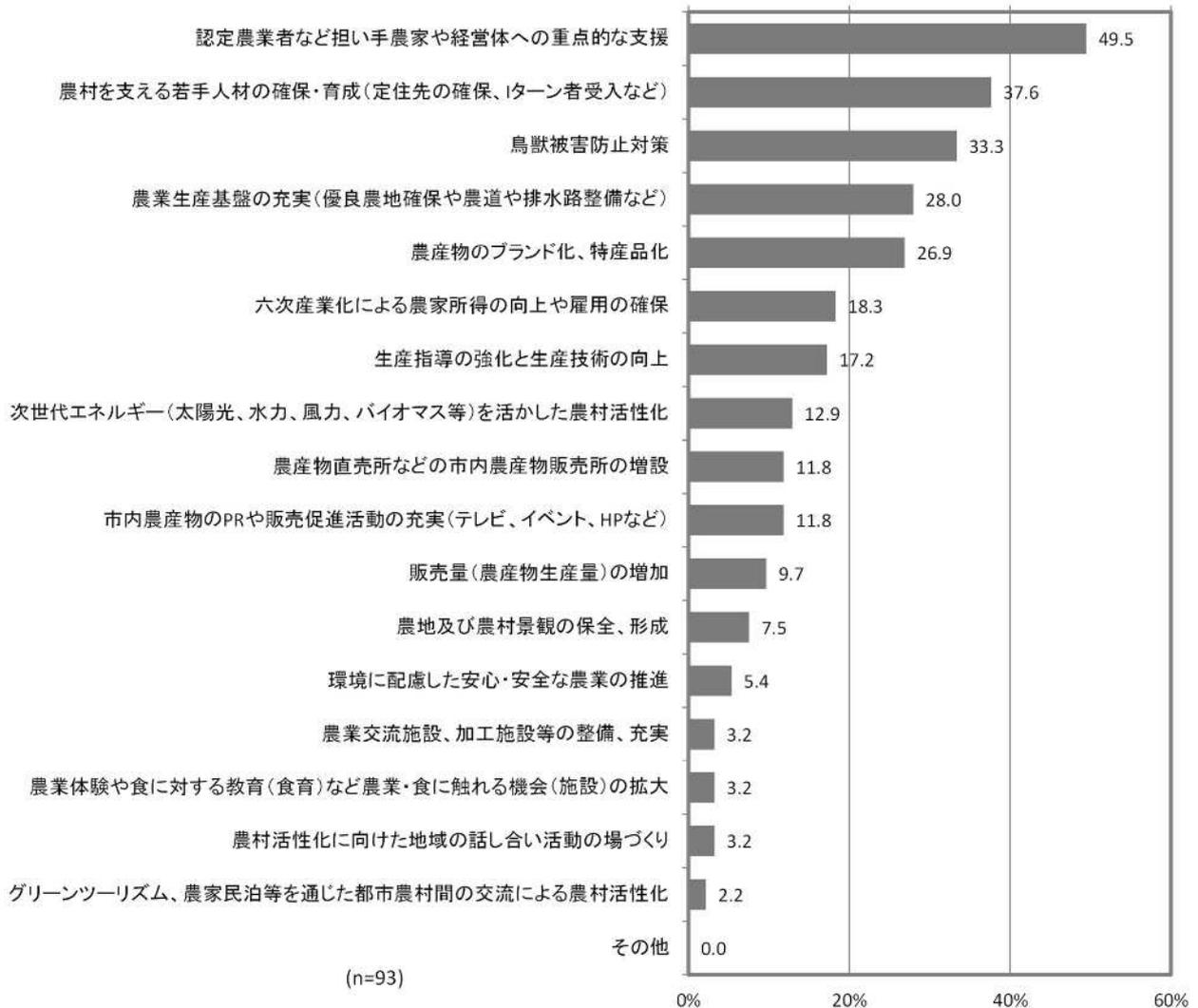
■各属性のクロス集計結果

	合計	新鮮で良質な農産物の安定的な供給	産地や生産者の表示など、消費者への農産物の情報提供	地元農産物の消費拡大による地産地消の推進	六次産業化による地域経済の活性化	地域の人々が働き、生活する場の提供(雇用の確保)	多くの生き物が生育・生息する場の提供	森林や水田による洪水防止など国土の保全機能の維持	森林や水田による水資源の安定的な供給	自然環境や田園景観の保全・形成	農業体験や自然体験など教育・レクリエーションの場の提供	農産物を通じた食育の提供	農村地域の歴史や祭り、伝統行事などの文化の継承	その他
全体	92	53.3%	21.7%	57.6%	22.8%	38.0%	4.3%	15.2%	6.5%	17.4%	10.9%	14.1%	7.6%	1.1%
年齢	40歳未満	4	3	3	1	5	0	1	0	1	1	0	1	1
	40歳代	5	2	7	2	7	1	2	1	4	1	4	0	0
	50歳代	13	5	16	7	3	0	8	4	4	3	1	2	0
	60歳以上	27	10	27	11	20	3	3	1	7	5	8	4	0
居住地	川内	10	5	12	3	7	2	2	2	3	2	4	0	1
	樋脇	7	2	9	4	4	0	1	0	3	2	2	2	0
	入来	8	5	9	6	6	0	3	1	0	3	2	1	0
	東郷	11	4	12	3	6	1	4	3	6	2	2	2	0
	祁答院	11	3	9	3	6	1	3	0	3	1	2	2	0
	飯島	2	1	2	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0
農業形態	個人	39	14	41	13	27	4	14	5	15	9	11	5	1
	法人	10	6	11	8	8	0	0	1	0	1	2	1	0

【問 23】あなたは、薩摩川内市の農業・農村を振興していくためにどのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選び、○印をつけてください。

「認定農業者など担い手農家や経営体への重点的な支援」と回答した人が約5割と最も多く、次に「農村を支える若手人材の確保・育成（定住先の確保、Iターン者受入など）」と回答した人が4割近くになっている。

年齢別に見ると、40歳未満では「鳥獣被害防止対策」と回答した人が5割と他の年代より多く、居住地別に見ると、入来では「鳥獣被害防止対策」と回答した人が5割と他の居住地より多い。



■各属性のクロス集計結果

	合計	農村を支える若手人材の確保・育成(定住先の確保、Iターン者受入など)	認定農業者など担い手農家や経営体への重点的な支援	農産物のブランド化、特産品化	販売量(農産物生産量)の増加	六次産業化による農家所得の向上や雇用の確保	農産物直売所などの市内農産物販売所の増設	生産指導の強化と生産技術の向上	農地及び農村景観の保全、形成	農業交流施設、加工施設等の整備、充実	農業体験や食に対する教育(食育)など農業・食に触れる機会(施設)の拡大	市内農産物のPRや販売促進活動の充実(テレビ、イベント、HPなど)	熱帯被害防止対策	環境に配慮した安心・安全な農業の推進	グリーンツーリズム、農家民泊等を通じた都市農村間の交流による農村活性化	農業生産基盤の充実(優良農地確保や排水路整備など)	農村活性化に向けた地域の話し合い活動の場づくり	次世代エネルギー(太陽光、水力、風力、バイオマス等)を活かした農村活性化	その他
全体	93	38	49	28	27	17	11	18	7	3	3	11	31	5	2	26	3	12	0
年齢																			
40歳未満	35	59	60	0	12	12	25	0	0	0	0	25	60	0	0	22	0	25	0
40歳代	15	6	9	4	5	3	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50歳代	24	10	10	13	13	11	4	20	6	6	0	13	33	0	0	0	0	6	0
60歳以上	34	16	22	12	11	4	8	16	1	0	0	20	16	0	0	11	0	5	0
居住地																			
川内	29	9	10	13	13	19	19	19	8	4	4	10	32	0	0	6	0	17	0
種福	14	10	10	5	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入来	16	5	6	6	6	3	2	28	14	0	0	14	14	0	0	0	0	0	0
東郷	20	5	9	4	5	2	2	2	2	2	2	3	0	0	0	0	0	3	0
都答院	19	9	9	11	3	3	0	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0
瓶島	4	0	3	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
農業形態																			
個人	74	37	41	28	25	17	10	17	8	3	3	13	28	5	2	27	2	13	0
法人	19	7	7	6	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0

6 最後におたずねします。

【問 24】 その他、薩摩川内市の農業・農村が目指すべき姿やその方策について、ご意見・ご提案がございましたら、ご自由にお書きください。

年代	性別	自由意見
20 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田畑の荒地の整備（基盤整備など）。</li> <li>・排水口、配管等の整備を市から進んでしてもらいたい。田んぼの休耕が増加してくる中で配管等の整備をしてもらえないと作物をつくろうにもつけれない。</li> </ul>
30 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会や観光課のイベント等へ農業分野も参加できる。もしくは、参加依頼をしてもらえようになるとありがたい。良い PR の場になると思う。</li> <li>・旧市町村での若手の団体や集まりはあるが、薩摩川内市としては、それが無い。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>面積を拡大して、法人にしたいが、そのための畑地がない。</li> <li>循環型の法人や農家の安定した収入を確立し、農地保全などに取り組み、人が活躍し地域がいきいきとした農業、農村を目指すべきだと思う。</li> </ul>
40 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地を減らし、農地の有効利用をすべき。その為の農地の集約を推進して欲しい。</li> <li>規模拡大を目指す農家をもっと取り組みやすい様な対策や支援を行って欲しい。そうする事で耕作放棄地も減るのではないかと。鹿児島県全体に言える事だと思うが、他の九州の県と比べても耕作放棄地が多い様な気がする。</li> </ul>
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農地の集約が必要。</li> <li>2. 水稻の品種の一本化。（早期、後期では水管理が難しい。）</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>農地の基盤整備を市が行い農家に貸し出す仕組みをつくるべきである。</li> </ul>
60 歳代	男性	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業を 45 年間やっているが、収入が安定しない。外国との競争、災害、国策、目標が持てない（猫の目のようだ）。農業よりも他産業の職に就いた方が安定して老後（年金）も良いのではないかと。これからの農業はどのように変化するかわからないが、国、県、市町村が援助しなければ、商社等が農業に参入すれば、個人、法人は競争できないのではないと思う。労働、資金、技術、販路等、様々な努力をしてもその結果（収入）がない。</li> <li>荒廃した農地（約 10ha）の基盤整備などの開発の支援をして欲しい。そうする事により地域の活動の活性化に向け、六次産業への推進を図ってもらいたい。</li> <li>燃料の高騰により生産をストップせざるを得ないので燃料費の助成。</li> <li>現在は、地区での集落営農組織はあるが、これからは、やる気のある認定農業者、担い手農家を中心とした営農組織で生産、販売をしていった方が良いと思う。個人では、労力に限界があり、又、集落営農も高齢者が多く、経営にあまり参入出来ない為。</li> <li>農業生産での経営が難しくなっている。高齢化が進み後継者がなく農地の耕作放棄地が進みそうであり、今後、人材育成などが必要ではないか。</li> <li>10 年、20 年後を見据えた農業経営。高齢者が多いため、その方が農業が出来なくなった時。</li> <li>TPP が始まれば農業農村がどのように変わっていくかわからないので、今はっきりとした方針は出せないと思う。市と農家が色々と話し合いをし、農地が荒れないようにしてほしい。</li> <li>問 21、22、23 については、全てどれと選べない。特に問 22 は、農業、農村に関わらず全ての職種に関わることであると思う。過疎化が進み、空き家が目立つ。ゴールド集落の増加にどう歯止めをかけるか。この地に本当に住み続けたいと思うような政策を望む。このアンケートが活かされることを望む。</li> <li>健康であれば農業も出来るし拡大も可能だが、後継者もままならない状況である。集落営農がなかなか進まない現状の中でどうにか人材確保（働き手）ができるなら、ある程度はやっていけるものと思われるが、年を重ねる毎に仕事がつらくなるので、そこら辺りを考慮して欲しい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島での農業経営に一番のネックは、船賃の問題があると思う。堆肥が少なく本土から買っているがほとんどが運賃に取られている。又、農作物の出荷にしても一部（赤土 ジャガイモ）は市の補助制度があるが、さつまいもや玉ねぎ、米にはない。一次産業に関するものに何らかの補助制度を検討してほしい。</li> <li>・離島の田畑は面積が小さく農業機械の使用ができない。離島に合った（有利）農作物を作付けするための土地改良を進めて欲しい。田畑の 1 枚当たりの面積があまりにも小さい。</li> </ul>

年代	性別	自由意見
60 歳代	女性	<p>原発も代替エネルギーで地域電力をまかなえるようになるまで必要だろうが、薩摩川内市はどこにも負けないワンポイントを。風力発電機を多量に設置し、米国カリフォルニア州のような景観の美しい農村を目指すべきではないか。</p>